

○主な質問・意見等

1 フッ化物洗口の実施状況について

・質問

(1) 179市町村のうち、実施が進んでいない5市町村の理由について

・回答

(事務局) 令和2年度から開始に向けて準備していた市町村が一部あるが、コロナの影響で頓挫しているところがある。また、職員負担が増加すること等への懸念から前向きではないところも存在する。

・意見

(1) 未実施の市町村に対しては教育委員会や自治体がもう少し積極的に関わっていく必要があると思う。現場の会議等でフッ化物洗口が話題に上がることはほとんどないのでまずは話題を上げることから話を進めていくべきだと思う。

(2) 道教委や保健福祉部が連携し未実施の市町村に働きかけ実施に向けた要請等の必要性を感じる。

2 成人期以降の歯科健診受診者の割合を増やすことについて

・意見

(1) 国民全員が歯科健診を受けられる体制づくりのため、道歯会としては、事業所健診先を拡大するため、働きかけているがなかなか進んでいない。道として、積極的な対応を望む。

(2) 北大では毎年、留学生を含む学生や教職員に対して任意の歯科健診を行っている。

(3) 薬剤師会では、在宅訪問の際に口腔内チェック等行っており、口腔環境について重要視している。受診勧奨に繋げるためのアンケート調査等、何か協力できることがあれば対応も可能。

(4) 入院している高齢者は自分で歯を磨くことができない方が多く、口腔状態不良により誤嚥性肺炎や低栄養に繋がるので、口腔ケアは大切だと感じる。早めの歯科健診が当たり前の時代になってもらいたい。

(5) 技工士会では口腔改善に補綴物でのお手伝いを行っている。保健医療推進計画の指標項目は広く知られていないと思うので、歯科受診等については、8020運動の場などで宣伝できるとよいと思う。

(6) 看護協会では、コロナステイが長いことによる年齢を問わない幅広い生活習慣への問題が聞こえてきている。受診控えの動きもあるので、検診を進めることは大切だと考えている。コロナの影響による評価がどうなっていくか今後も注視していきたいと思う。